

早いもので、2007年もあとわずかとなりました。みなさんにとって今年はどうな年だったのでしょうか。ここでは、山陽小野田市の2007年の主な出来事を振り返ってみました。



教育特区の認定（11月）



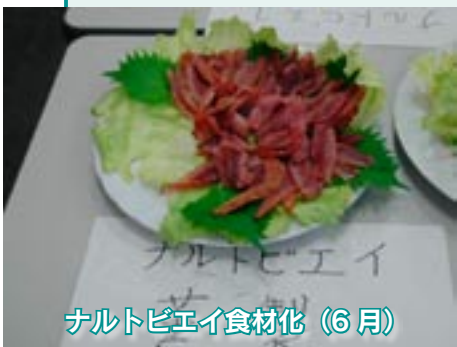
山陽オートレース事業
包括的民間委託スタート（1月）



近代化産業遺産認定（11月）



市民の善意による
中学生海外派遣事業実施（8月）



ナルトビエイ食材化（6月）

① 総合計画「基本構想」策定（9月）

総合計画とは、市の最上位計画であり、新たなまちづくりの指針となるものです。9月議会の議決を経て、10年後の将来像を示す基本構想が決まりました。

② 市民憲章制定（3月）

山陽小野田市民憲章起草協議会により意見募集が行われ、3月21日に制定されました。

③ 「幼・保・小・中」生活改善・知能向上教育特区の認定（11月）

構造改革特別区域に認定されたことにより、平成20年度から規制緩和が図られ、「総合基礎科」の新設、幼稚園・保育園へのプロジェクト導入など、本市独自のカリキュラムを組むことが可能となりました。

④ 山陽オートレース事業の包括的民間委託スタート（1月）

1月7日から、日本トーター株式会社への包括的民間委託がスタートしました。

⑤ 債権特別対策室を設置（4月）

4月から公金の滞納整理をすすめ、収納率の向上を図るとともに、公金負担の公平性を確保することを目的に設置しました。

⑥ 2つの市民病院の統合の方針決定（9月）

「新病院建設構想検討委員会」からの答申を受け、10月11日、2つの市民病院統合の方針を打ち出しました。

⑦ セメント製造関連遺産・窯業関連遺産が近代化産業遺産に（11月）

「徳利窯」・「旦の皿山」に代表される2つの関連遺産が、地域活性化に役立つ近代化産業遺産として、11月30日、経済産業省の認定を受けました。

⑧ 市民の善意で中学生海外派遣事業実施（8月）

市民の皆様の温かいご支援により、今年も休止せず、姉妹都市オーストラリア・レッドクリフ市への中学生派遣事業を続けることができました。

⑨ 秩父市と姉妹都市交流が再開（12月）

6月に姉妹都市秩父市の市長が本市を来訪されたのを受けて、12月に本市の友好訪問団が秩父市を訪れました。

⑩ ナルトビエイ食材化（6月）

7月の「市の特産品試食会」にナルトビエイを材料とする^{くんせい}燻製ほか、4種のレシピが発表され、好評を博しました。